

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	S.N	学部・学科	国際教養学部 国際教養学科
学年	4年	派遣国	カナダ
派遣大学	メモリアル大学		
期間	2022年9月3日～ 2022年4月22日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ( )					
部屋	個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ( )					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 ( 50000 ) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	( 徒歩 ) で、約 ( 5 ) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	70000 円	必須のミールプラン
学用品購入費	5000 円	教科書代
交通費	1000 円	バス代
交際費	15000 円	外食代、イベント参加費
その他	円	
<b>合計</b>	<b>91000 円</b>	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

町の治安はよく目立って危険な地域も特にないが、ダウンタウンには路上生活者が多くいるため特に夜間一人で歩く際には注意した方がよい。

### 3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ( )		
加入期間	( 8 ) ヶ月間	保険料	( 82000 ) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	( ) ヶ月間	保険料	( ) 円

### 4. 滞在都市についての情報

<p>滞在都市／町 ( <b>セント・ジョンズ</b> )</p> <p>北米大陸の最東端に位置するニューファンドランド島の中でも最も東にある都市であり、北米で最も古い歴史を持つ街の一つである。天候は一年中過ごしやすいが、1年を通して霧が非常に多いほか、11月ごろからは雪がかなり多く降り、風も強いいためスノーストームも多く発生する。カラフルな街並みや多くのパブがあるウォーターストリートなどが有名であるほか、漁業が盛んでありタラやサーモンなどの海産物が非常に豊かで有名である。</p>
---

## 【学業編】

### 1. 大学情報

大学	メモリアル大学	所在地	セント・ジョンズ
最寄空港	セント・ジョンズ国際空港	空港からの距離	約 6 km
空港⇄大学	( タクシーまたはバス ) *移動手段		
学生数	約 19200 人	留学生数	約 3400 人
学部	Faculty of Business Administration Faculty of Education Faculty of Engineering and Applied Science Faculty of Humanities and Social Sciences Faculty of Medicine Faculty of Nursing Faculty of Science Marin Institute  *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Faculty of Humanities and Social Sciences *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① ( 9 )月～( 12 )月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	自習	自習	自習	自習	自習
午後	授業・自習	授業	授業・自習	授業	授業・自習

② ( 1 )月～( 4 )月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	自習	自習	自習	自習	自習
午後	授業・自習	授業・自習	授業・自習	授業・自習	自習・coffee club

### 3. 履修内容

科目	Social Inequalities		
履修期間	Fall semester	単位数	3
授業内容／形態	歴史的観点から見た社会的不平等や、不平等に関する主要な理論を学び、階層化や格差を解消するうえで現代において必要な社会的発展について考える。 <授業形態> 一斉授業&グループワーク		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Communication & Culture		
履修期間	Fall semester	単位数	3
授業内容／形態	デジタル情報技術やコミュニケーション技術の発展がメディアに与えてきた影響について考え、社会的、文化的、政治的文脈におけるメディアについて概観する。 <授業形態> 一斉授業&クラス全体でのディスカッション		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	War & Aggression		
履修期間	Fall semester	単位数	3
授業内容／形態	暴力や戦争のような組織的侵略、またその根本にある人間の攻撃性がどのように形成されるのかという問いについて、事例に基づいて倫理学、心理学、社会学的観点から考える。 <授業形態> オンデマンド授業（リーディング+レジュメ）		
成績	B		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Culture, Society & Globalization		
履修期間	Winter semester	単位数	3
授業内容／形態	<p>人々、文化、国など世界中の要素が相互に連結している現代における問題を通して、グローバリゼーションについて探求する。グローバル化の歴史やグローバル化によって生まれた課題、人間の関係や生活の戦略、社会的、文化的、政治的变化を批判的に考える。</p> <p>〈授業形態〉一斉授業</p>		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Anthropology of Food		
履修期間	Winter semester	単位数	3
授業内容／形態	<p>社会的、文化的、世界的な文脈での食に関する研究の人類学的アプローチを探る。食の分類、食生活の変化、商品化・工業化、食にかかわる有償・無償労働、政治との関わり、食の安全保障、食糧主権等のトピックを扱う。</p> <p>〈授業形態〉一斉授業&amp;グループワーク</p>		
成績	B		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Technology & Society		
履修期間	Winter semester	単位数	3
授業内容／形態	<p>技術と社会の関係について学ぶ。技術の定義、技術の発展や進化の歴史とそれらが社会に与えた影響、技術と社会の関係に関する理論に加え、戦争やマスメディア、労働と自動化、AIなどの社会的問題について考える。</p> <p>〈授業形態〉一斉授業&amp;グループワーク</p>		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	S・N	学部・学科	国際教養学部 国際教養学科
学年	4年	派遣国	カナダ
派遣大学	メモリアル大学		
期間	2022年9月3日～2023年4月22日		
プログラム	交換留学プログラム		

< 留学先大学での履修内容 >

科目	Social Inequalities
講義内容	歴史的観点から見た社会的不平等や、不平等に関する主要な理論を学び、階層化や格差を解消するうえで現代において必要な社会的発展について考える。
科目	Communication & Culture
講義内容	デジタル情報技術やコミュニケーション技術の発展がメディア風景をどのように変えてきたのかに注目し、社会的、文化的、政治的文脈におけるメディアについて概観する。
科目	War & Aggression
講義内容	暴力や戦争のような組織的侵略、またその根本にある人間の攻撃性はどのように形成されるのかという問いについて、倫理学、心理学、社会学的観点から考える。
科目	Culture, Society & Globalization
講義内容	様々な要素が世界的に連結している現代における問題を通して、グローバリゼーションについて探求する。グローバル化の歴史や課題、人間の関係や生活の戦略などに影響を与えてきた社会的、文化的、政治的变化を批判的に考える。
科目	Anthropology of Food
講義内容	社会的、文化的、世界的な文脈での食に関する研究の人類学的アプローチを探る。食の分類、食生活の変化、商品化・工業化、食にかかわる有償・無償労働、政治との関わり、食の安全保障、食糧主権等のトピックを扱う。
科目	Technology & Society
講義内容	技術と社会の関係について学ぶ。技術の定義、技術の発展や進化の歴史とそれらが社会に与えた影響、技術と社会の関係に関する理論に加え、戦争やマスメディア、労働と自動化、AIなどの社会的問題についても扱う。



<総括>

(1) 全体的な感想 \*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

まず大学での授業や勉強面で、授業の内容以外にも多くの学びがあった。留学前から海外では日本よりも学生が積極的に発言すると聞いていたが、実際の授業では先生が投げかけた疑問に対する回答を発言するだけでなく、先生が話している最中でも手を挙げて自分が疑問に思った点や別の論点、実体験などを話す学生が多く、先生もそれに合わせて話題を変えるなど、授業に対する姿勢や積極性の違いを想像していた以上に大きく感じた。またグループワークでも、同じ映画や資料を見ても着目する点や意見の深さが自分とは全く異なっており刺激を受けることが多かった。学校全体には留学生が多くいたが私が受講した授業の多くはほとんどが現地の学生だったため、最初はスピードについていけず何も意見が言えないままグループワークが終了してしまうこともあったが、全体の場で発言できなくても自分の意見をしっかり用意する癖がついたし、相槌やリアクションなどでもとにかく会話に参加することを心掛け、日々の授業でグループワークを重ねる中で徐々に意見を出せるようになった。これまで経験してきた日本語で自由に話せたディスカッションとは異なり、英語力の面でも課題の内容面でも今までのようにはいかない状況を多く経験したことで、自分なりの意見をしっかり準備できるようになったと思うし、意見を交換することで考えをより深めるという意義をより感じた。

また現地の学生や知り合った友人との交流でも学ぶことが多かった。留学前に思い描いていたようにうまくいかないことも多く、授業についていくのが大変だったり会話についていけなかったりと不安になることも多かったが、他の留学生の友人が英語力を過剰に気にせず話しかけたりイベントに参加したりする姿を見て、自ら積極的に挑戦してみる重要性を改めて学び、誰かに話しかけられるのを待つのではなく勇気を出して自分一人でもいろいろな場に行ってみることで新しい出会いや交流を重ねるという経験をすることができた。メモリアル大学には世界中の国から多くの留学生が集まっており交流の機会も多かったが、ヨーロッパやアフリカなどはもちろん韓国や中国など同じアジアの国出身の人でも一緒に食事をしたりお互いの国の話をしたりする中で文化の違いを感じることも多くあった。また、自分が好きな音楽やドラマの話題でナイジェリア人のルームメイトと話すことができたり、逆に日本のアニメや音楽の話題をしてくれた人がいた際に私の知識があまりなかったためにうまく話が盛り上がらなかったりしたこともあり、留学前は漠然といろいろな国の人と交流してみたいと考えていたが、こうした経験から自分の興味にこだわらずに広い視野を持って様々なカルチャーに触れていくことが国際交流において重要だという気づきを得た。全体を通して、慣れない生活にストレスや不安を感じることもあったが、それ以上に日々新しいことに刺激を受けた毎日は貴重な経験で、これからのモチベーションにもなるとても意義のある時間だった。

(2) 今後の展望 \*この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

留学生活を通して多くの人に出会い、語学力の面でも行動力や積極性などの面でも自分が不足している点を多く感じた。留学前よりも英語力を向上させることができたと感じる一方で、自分が思っていることを100%伝えられるわけではなく、発音なども不十分で足りない部分もたくさん実感し、より英語でのコミュニケーション能力を向上させたいと感じたので、留学で身に着けたものを維持しながら、将来に生かせるようにこれからも学習を継続していきたい。また自分の意見を持ち主張することが求められることが多く、自分はどうかどうするかを考える癖がついたし、自分の意見を発表することへの苦手意識も少し軽減されたと思うので、これから大学でもそれ以外の場所でもそれを生かして積極性をもって何事にも取り組んでいきたい。また他国の友人を作ったり一人で海外を旅行したりと、今までしたことなかったさまざまな経験をして興味も広がったので、これからいろいろな国の言語や文化についても勉強し経験してみたいと思う。

(3) 後輩へのアドバイス \*留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

リーディングやリスニングにはある程度の自信をもっていたつもりだったが、実際の授業や予習、課題などやるべきタスクや勉強量が想像していた以上に多く思うようにいかないことも多くあったため、事前準備は思っていた以上に重要だと感じた。また特に最初のころは発音が悪くうまく通じなかったり、聞き取れず会話についていけなかったりということが私の場合は多くあった。留学前はスピーチ等の動画を見て勉強することが多かったが、それ以上に口頭での会話に力を入れておけばもう少しスムーズに行くことも多かったと思う。またそうした状況にストレスを感じ思っていたように楽しめないこともあったが、出発前に留学の目標や目的を明確にすることでだれてしまったりなんとなく時間を過ごしてしまったりということは避けられると思う。勉強や語学の面以外にも慣れない場所・環境での生活事態にストレスを感じることもあるかもしれないが、その場所でしかできない新しい経験をぜひしてみたいと思うし、不安になりすぎずなんでもまず一回はやってみるという積極性を持つことで充実した留学生活にすることができると思う。